



414
A 125
12

第 二 百 七 十 六 号

六 葉 半

大 正 十 一 年 四 月
候 爵 郵 寄 附



千八百七十四年十月十日
トケイ、ジョー
ルナル新聞抄譯
一週間新聞

湾ヨリノ無ニノ新報ヲ記セシカ其文中ニ臺灣
ニ在ル日本兵ハ日ニ死スル者二十名ニ下ラス
然ルニ其日本兵卒ノ数ハ僅カニ三千シレハ今
ヨリ百五十日ヲ出テスシテ全軍皆病死スヘク
而シテ日本ヨリ之ニ代ユヘキ兵ヲ送ル能ハサレ
ハ支那政府ハ敢テ日本兵ノ臺灣ニ據ルヲ患フ



ルヲ要セスト云ヘリ蓋シ此「イポー」新聞ノ真
ノ事情ヲ誤識スルハ頗ル面白クシテ其事実ハ
余等々嘗テ述ヘシ如ク日本兵ノ死亡意外ニ少
ナキニ在リテ且ツ日本ニ於テハ要次第臺灣
ニ送ル可キ兵ヲ備ヘタル一日ニ之ヲ証スルヲ
得可ク依テ日本兵ノ死亡シテ臺灣ヲ引退クノ
恐アルヲナシ故ニ「シヤンハイ、イーブン」ガゼ
ツトニ之ヲ評シテ云ヘル如ク實ニ支那ノ好事
ナル政事家ハ最モ異常ナル臆說ヲ保ツ者ナリ

支那ノ官吏ハ猶頻リニ戦ノ用意ヲ為シテ兵ヲ
動カス一頗ル威ナリ評判ニハ支那ハ戦ヲ好ム
ト言フト虽モ最近ノ報告ニ據レハ其評判ノ虚
説タルヲ知り得可ク蓋シ恐ラクハ「ジヤルデー
ン」マセン社中ヨリ黃銅ノ「ミトライユール」砲
三十門ヲ支那ニ輸入シタル可ク此砲ハ皆佛製
ノ者ナレ氏「佛戰爭」時「日耳曼」ノ獲ル所トナ
リテ這回日耳曼人ヨリ之ヲ買収シタル者ナリ
又天津新報ニ支那日本ノ争ハ中保人ノ裁定ニ
任カスニ至ルヘシト言フト虽モ是レ余等ノ望

マサル所ニシテ此回ノ争、情実ハ日支兩國ノ
外ニ於テハ之ヲ解スル者寡ナク且ツ是迄此争
ニ付テノ外國人ノ論說ハ臺灣島中ノ一部ハ支
那ニ管轄ニ屬スルカ故ニ其全部モ亦之ニ屬ス
ルト為スニ在レハ若シ果シテ其争ヲ中保人ノ
裁定ニ任カスニ至ラハ必ス日本ヲ非理ナリト
思フ意見ヲ懷ク可ク此意見ヲ排除スルニハ夥
多ノ確証ヲ要ス可シ而シテ其確証ノ必要ナルニ
至ラハ敢テ之ヲ缺クコトナカル可シト虽モ此回
ノ事ニ付テハ縱令少許ノ不利アリモ中保人ノ

裁定ニ任カサハルヲ以テ日本ノ為メ良策ナリ
トス可シ

此回ノ争ヲ了決ス可キ約束ノ事ニ付テハ未タ
確報ヲ得スト虽モ支那人ノ說ニ拠レハ日本人
大ニ其需要スル所ヲ輕減シ方今ハ支那ニテ日
本ノ方ニ臺灣へ兵ヲ遣リテ理コシテ聽認セハ
日本ハ之ヲ以テ満足ス可キ由ナリ而シテ此說ノ
因テ起レル所ニ就キ以テ考フル時ハ右ノ事ハ
支那人ノ欣然トシテ聽認スヘキ所タルヘシト

虽モ采シテ之ヲ以テ其争^ハ決スル基礎ト為
スヘキヤ未タ知ル可カラズ若シ果シテ然リト
為スモ日本ハ斯クノ如キ^ハ約ニ因リ縱令己レ
ノ為メ甚ク満足ナラサルニ然^レレノ為メ榮
譽アルヲ決^テ為シ得可シ而メ又方今此争ノ平
和ニ了決スヘキノ望アリト雖モ政府ハ少シモ
預備ヲ怠ルコトナク交戦ノ用意頗ル盛ナリ蓋シ
日本ハ其断然^ト為サントスル姿ヲ示セシニ因
リ支那政府ヲシテ其國出板ノ一新聞紙ニ記ス
ル如ク其財庫ノ罄虚ナルニ日本ト戦ヲ始ムル

ノ利害^ハ再三考慮スルニ至ラシメタルヲ敢テ
疑ヲ容レズ

長寄ニ於テノ評判ニ不日ニシテ東京ヨリ三萬
ノ兵来著スヘシト云ヒシカ其見積リ高後ニ一
萬ニ減シ其一分ハ臺灣ニ赴クベシト云フ

臺灣出兵ノ事ニ寸キ著ルシキト称スヘキハ或
ル新聞紙ニ日本ヨリ臺灣ニ送リタリト記セル
兵卒ノ數ヲ合算スル時ハ凡ソ五万ニ及フベキ

事ニシテ活潑タル想像ハ如何ナル珍事ヲ工風
ヌヘキヤ亦驚クニ堪ヘタリ

又日本ニ賣渡サントスル甲鉄船ノ数ヲ言フニ
其頗ル夥多ナルハ亦驚クニ足ル可ク大約十日
以前ハ日ニ蕃地事務局ニ甲鉄船ヲ賣ラント述
フル者アリシカ何レモ皆其委細ノ事實ヲ述フ
ルヲナク其詮議ノ上全ク虚言ナルノ明カナリ
シ者寡ナカラサル由ナリ又此等ノ商人ハ政府
ニテ甲鉄船ヲ買収セント欲セハ其世話ヲ為ス

ベシト言ヒシカ其甲鉄船ハ何レノ所ニ在リヤ
之ヲ言フ者ナシ

其後ハ北京ニ在ル大久保ヨリ新報ヲ得ルヲナ
キニ因リ談判ノ如何程捗取リシヤ又如何程功
ヲ奏セシヤ未タ之ヲ知ル能ハス

日本政府ハ若シ支那ト交戦ノ始マルヲアリテ
支那人ノ當地ニ駐マリテ其平生ノ業ヲ営ムヲ
許ルス旨ヲ決定シ左ノ布告ヲ為マリ

此所ニ日本文ヲ英文ニ譯セシ布告アレ凡此
ニ之ヲ畧ス譯者白

余等ハ支那人及ビ其政府ノ異常ナル変心ヲ孰
知シタル凡頓ニ恭親王ノ等位ヲ下セシハ頗ル
全等ノ意外ニ出テタリ蓋シ恭親王ノ等位ヲ下
セシ勅命及ビ其勅命ヲ取消ス再度ノ勅命ハ未
タ其所以ヲ知ラスト虽モ評判ニハ恭親王ノ改
府金庫中ニ宮殿粧飾ヲ為スヘキ財ノアラサル
旨ヲ皇帝ニ奏セシニ因ルト云ヒ又或説ニハ恭

親王ノ臺灣一條ニ付キ其説ノ定メシ確乎ナル
ニ過ソルニ因ルト云ヒ其真偽未ダ判然タラス
ト虽モ恭親王ハ朝廷ニ於テ其敵手頗ル多ク之
レカ為メ諉セラレテ一時其等位ヲ下サレシ
明カニシテ且ツ恭親王ハ此田皇太后ノ助ケニ
因リ其等位ニ復マレルヲ得タレ凡嘗テ皇太后ノ
政ヲ擾セシ時ノ如キ威權ヲ有レナキ亦敢テ
疑ヲ容レズ蓋シ恭親王ノ位級ヲ下セシ勅命ヲ
取消ス再度ノ勅命ハ左ノ如シ
余等皇太后ツアン及ビツシヨリ命令書ヲ受

ケシカ其文ニ曰ク昨日皇帝陛下恭親王ノ世襲第一等皇族ノ位ヲ奪セ之ヲ下シテ第二等皇族ト為ス勅ヲ發シタリ(但シ此處ニ恭親王ノ長子ノ位一等ヲ下ス旨ト皇帝ノ此處置ヲ為セシ道理トニ管スル以前ノ勅書ノ文ヲ載セタリ)蓋シ恭親王ハ其罪アリト虽モ又從來ノ勲功アリテ且ツ其政府ヲ保護セシカハ實ニ永ク史乘ニ傳ワルニ足ルカ故ニ朕特別恩典ヲ以テ其世襲第一等皇族ノ位ヲ復シ又其長子ツアイ、チエンモ更ニベイレ親王ノ

位ニ復スルヲ勅ス依テ恭親王ハ之ヲ顧ミテ自カラ戒メ更ニ励勉シテ這回ノ難事ヲ排除シ其高位ヲ辱ムルケレ夫レ是レヲ欽奉セ

箕作權大内史 訣